BOOK INFORMATION ／ 書籍紹介資料

病院職員のための
この病院、大丈夫？と思ったら読む本

医療政策と病院経営がやさしくわかる　令和8年度診療報酬改定・新たな地域医療構想対応



病院で働くすべての人のための、医療政策と病院経営の入門書。2026年11月1日、製本版（ペーパーバック）とKindle版で発売しました。

著者	星 剛史
発行	ウェルタクト出版
発売日	2026年11月1日
製本版（ペーパーバック）	**1,980円**（税込）　A5判
Kindle版	**1,250円**（税込）
販売	Amazon https://www.amazon.co.jp/dp/B0HNT5944N

こんな方におすすめ

- 若手の医療職の方
- 病院の管理職の方
- 事務職・経営企画の方
- 医療経営を学びたい方

本書の概要

患者はいるのに受け入れられない。病棟の再編や統合の話が聞こえてくる。診療報酬改定、地域医療構想、病床機能といった言葉は耳にしても、自分の職場とのつながりを説明できる職員は多くありません。

人口減少や人材不足、物価・人件費の上昇で、病院経営の環境は大きく変わりつつあります。本書は、「この病院、大丈夫？」と感じたことのある病院職員が、制度と経営の全体像をつかむための最初の一冊です。令和8年度（2026年度）診療報酬改定と、2040年を見据えた新たな地域医療構想に対応しています。

取材・献本・講演のお問い合わせ
ウェルタクト リサーチアンドテクノロジー株式会社（代表取締役 星 剛史／設立 2021年6月）
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄5丁目26-39 GS栄ビル 3F（東京事務所・大阪事務所あり）
お問い合わせフォーム：https://www.welltact.com/contact/　／　URL：https://www.welltact.com/

本書の特長

01 多職種の医療職が、自分の現場から語る

案内役は医療小説『病院船スクナ』のクルーたち。看護師は救急の逼迫と人手不足を、薬剤師は薬剤の安定供給と医療安全を、診療放射線技師は医療機器の更新と投資を語ります。

02 「対話」と「解説」の二部構成

各章はクルーたちの対話と著者による解説で構成。対話で問いをつかみ、解説で制度・数字・経営の意味を整理します。小説を読んでいなくても読み進められます。

03 最新の制度動向に対応

令和8年度診療報酬改定に加え、2026年7月に示された地域医療構想策定ガイドラインに基づく新たな病床機能区分（包括期など）まで反映しています。

04 医療職出身のコンサルタントによる視点

著者は診療放射線技師として臨床に従事した後、医療経営コンサルタントに転身。2021年の独立以来、50の医療機関の経営改善を支援しています。

目次

はじめに／プロローグ

第Ⅰ部　病院の現在地
第1章　「この病院、大丈夫？」と思った瞬間
第2章　日本は、なぜこんなに病床が多いのか
第3章　なぜ、日本の病床はこんなに増えたのか
第4章　病床は、なぜ見直されようとしているのか

第Ⅱ部　制度は何を促しているか
第5章　急性期医療は、なぜ集約されるのか
第6章　高齢者救急を、誰が引き受けるのか
第7章　退院できない患者を、誰が支えるのか

第Ⅲ部　経営と、変わり方
第8章　病院を見る数字を、どう読めばいいのか
第9章　病院は、どう機能を変えていくのか
第10章　病院は、誰と一緒に変わるのか
第11章　病院再編は、どう地域で合意するのか

第Ⅳ部　人と、これから
第12章　診療科は、これからどう変わっていくのか
第13章　医師だけでは、病院は動かない
第14章　病院管理部門は、病院を動かす中枢である
第15章　病院DXは、何のためにあるのか

最終章　この医療を残したいと思った人、全員が舵を取る
あとがき

登場するクルー

結城 理久	スクナ・プロジェクト統括（案内役）
速水 灯	救命救急医
手島 陽菜	看護師
花村 千尋	看護師
光岡 亮介	診療放射線技師
波多野 佑真	臨床検査技師
薬師寺 澪	薬剤師
工藤 慧	臨床工学技士
稲葉 つむぎ	管理栄養士
岩崎 剛	理学療法士
HAKUTO	医療判断支援AI
久我 正隆	国会議員・元医師

著者プロフィール

星 剛史（ほし つよし）

博士（医学）・診療放射線技師・MBA・認定登録 医業経営コンサルタント。ウェルタクト リサーチアンドテクノロジー株式会社 代表取締役、ゼロハーム株式会社 代表取締役（共同代表）。

名古屋大学医学部附属病院で診療放射線技師として臨床に従事した後、監査法人トーマツ（現デロイト トーマツ）等で医療機関向けコンサルティングに携わる。2021年に独立し、これまでに50の医療機関を支援。自治体・公立病院、民間病院の経営改善や、地域医療における病院の在り方検討を支援している。

総務省「経営・財務マネジメント強化事業」公営企業アドバイザー。小説『病院船スクナ』著者。